

報道関係者各位

空き教室を活用して現代美術家 荒井 恵子氏が作品制作 ～子どもたちが身近でアートに触れる機会を創出します～

船橋市教育委員会は、4月25日(月)に船橋市立豊富中学校の空き教室を活用して本市在住の現代美術家 荒井 恵子氏による和紙と墨による作品の公開制作を実施します。

教育委員会では、子どもたちが主体的にアートに関わり、生涯にわたって鑑賞や創作活動に参加する素地を育むために、学校と連携した取り組みを進めています。アーティストによる空き教室を活用した作品制作は初めての試みで、子どもたちが直接、アーティストと触れ合える機会をつくるとともに、制作体験を通じてアートを身近に感じてもらいます。

子どもたちは、事前に荒井氏の作品や活動内容等を紹介したインタビュー動画を鑑賞。当日は、休み時間や放課後などの時間を利用し、実際の制作場面を自由に見学するほか、制作の体験もできます。アーティストとの関わりや作品の制作過程を知ること、子どもたちがアートに関心や親しみを持ってもらえることを期待しています。

なお、今回制作した作品は、学校近隣のアンデルセン公園子ども美術館で開催する、荒井氏の企画展(会期8月13日～9月25日)の中で展示を予定しています。

日時：令和4(2022)年4月25日(月)制作10:30～16:30

※うち昼休み12:50～13:10、放課後14:20～

会場：船橋市立豊富中学校(船橋市豊富町12)

対象：全校生徒

内容：・空き教室を活用した現代美術家の作品制作

作品(仮)「白ト黒ノ間一」の和紙200枚の水切り(※)

(※)和紙に水を施し、手で切る(割く)

- ・子どもたちの作品制作場面の自由見学
- ・子どもたちの制作体験(和紙の水切り)

報道関係者のみなさまからのお問い合わせ先

船橋市教育委員会 生涯学習部 文化課 文化振興係

電話 047-436-2886(受付時間：平日9:00～17:00)

FAX 047-436-2884

E-mail bunka@city.funabashi.lg.jp

■荒井 恵子氏（現代美術家）プロフィール

別紙

- 1963年 東京都生まれ、船橋市在住
- 2002年 東京ワンダーサイトにて個展「耳を澄ませて」を開催
- 2013年 襖絵《空》と《宙》を制作し、西船橋の宝成寺に奉納
- 2017年 福井県の岡太神社・大瀧神社に襖絵《起承転結》を奉納
- 2018年 日本で唯一の水墨画専門の美術館・富山県水墨美術館で個展「いろいろのいろ 墨のいろ 荒井恵子と子どもたち」を開催
- 2019年 「One Hundred Shades of Grey, The Storrier Stearns Japanese Garden」(アメリカ ロサンゼルス)
- 2021年 「令和3年度船橋市所蔵作品展 荒井恵子 船橋三部作—宝成寺・三番瀬・玉川—」を船橋市民ギャラリーで開催



現代における墨と和紙による表現の可能性を追求している

《本市の所蔵作品》



《古代 A》



《夢の中》